



# 那須南病院 看護部

看護部紹介	部署紹介	教育について	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・看護部長あいさつ</li><li>・看護部の体制</li><li>・看護職員紹介</li><li>・新人看護師・中途採用看護師</li><li>・育児休暇復帰看護師・派遣看護師</li><li>・時短看護師・いきいき看護助手</li><li>・認定・特定行為看護師</li><li>・訪問看護師</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・2階病棟</li><li>・3階病棟</li><li>・4階病棟</li><li>・医療福祉相談・医療連携室</li><li>・医療安全管理室・患者相談窓口</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育体制</li><li>・看護助手研修</li><li>・e-ラーニング研修活用</li><li>・新人看護師教育</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・修学資金制度</li></ul>

## 地域の中で、患者さんに寄り添い笑顔の看護

「地域医療、多職種連携の中心的役割を果たし、

垣根を超えた、協力し合える病院を目指します」





## 看護部長あいさつ

### 思いやりのある看護

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院は、栃木県北東部の那須烏山市に位置し、近くを清流那珂川が流れる自然豊かな環境の中であり、地域の中核医療機関としての役割を担っています。看護部では、「私たちは、患者の皆様寄り添い思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が安心して過ごせるようにサポートします。」と理念に掲げ、患者さんのことを自分の家族のように心に寄り添い、「思いやり」のある心をもってきめ細やかな支援ができるよう心掛けています。当院は救急・急性期から慢性期まで多くの経験を積むことができます。各機関と連携を取りながら、地域の皆様から「那須南病院があって良かった。」と言ってもらえるよう、地域に根付いた看護をスタッフ一同、力合わせて取り組んでいます。また、自己のキャリアアップに向けてキャリア開発ラダーによる教育体制を整えています。コロナ禍でも、自己研鑽できるeラーニングや、少人数での研修等工夫しながら行っています。

看護部では「お互い様」を合言葉に、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、働きやすい職場づくりを目指し、人材を貴重な財産として、スタッフがやりがいを感じながらいきいきと働けるように、職場環境の改善にも努めています。ぜひ一緒に働いてみませんか。皆様の入職をお待ちしております。

看護部長：鈴木敦子



### 看護部理念

私たちは、患者の皆様寄り添い、思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が、安心して過ごせるようにサポートします。

### 看護部方針

1. 患者の皆様のご権利を尊重し、まごころと優しさのある看護をします。
2. 地域の皆様に親しまれ、信頼される看護をします。
3. 良い看護を提供するために、自己研鑽に努め、責任と誇りを持って看護をします。

### 2022年度看護部目標

1. 病院経営に貢献する
2. 患者に寄り添い、信頼される看護を提供する
3. 心身ともに健康で働ける職場環境作り
4. 得意分野を活かし看護の質を向上させる





## 看護部の体制



### 看護体制

1. 一般急性期病棟・・・10：1 100床（包括病床8床含む）
2. 療養病棟・・・・・・・20：1 50床



### 看護提供方式

固定チームナーシング方式＋受け持ち制



### 勤務形態

1. 病棟：変則2交代制勤務 全病棟3人夜勤（療養病棟看護職員1名看護助手2名）
2. 外来・手術室・透析室：日直・当直制



### 看護部委員会

1. 教育委員会 2. 基準委員会 3. 記録委員会 4. 業務委員会 5. 入退院支援委員会



## 看護職員紹介



### 新人看護師

#### 4月から配属になりました

那須烏山市生まれで、当地域で育ちました。看護師を目指してからは、地域の皆様のお役に立ちたいと考え、地域に根差した病院に就職しました。患者様、家族の皆様のために頑張っております。3階病棟は内科・眼科・小児科の混合病棟です。覚えることが多く緊張の毎日ですが、患者様の笑顔、元気になっていく姿が励みになります。患者様、家族の想いに寄り添い、その人らしい看護が提供できるように成長して行きたいと思っております。

#### 3階病棟：高德里奈



## ■ 新人看護師

---

### 4月から配属になりました

私は整形外科、外科、内科の病棟で勤務しています。看護師は患者さんにとって身近な存在であり、多職種や家族との懸け橋となる役割があります。患者さんの想いを傾聴し、患者さん中心の看護を提供したいと考えています。

4階病棟：坂部ころろ



## ■ 中途採用看護師

---

### 5月から入職しました

前職は、透析センターで勤務していました。ルーチンワークであり、患者さんとのコミュニケーションを大切にしてきました。4階病棟に配属になり、覚えることがたくさんあり、日々精進していきたいです。

「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に選択供給し、患者の生命の消耗を最小限にする」とあります。一人ひとりの患者さんと向き合い、寄り添える看護師になりたいです。また、日々の安心安全な看護を行うために、自分自身の健康管理にも気をつけたいです。

4階病棟：若井田有美



## 育児休暇復帰看護師

### 4月から復職し外来で勤務しています

育児休暇後、外来に勤務しています。仕事をしている時は自分が生き生きとしていることを感じられる時間です。気持ちの切り替えが、良い気分転換となり、仕事と家庭の両立をしています。外来は「病院の顔」と言われます。笑顔で側に寄り添い、地域の皆様が安心して通院し、安全な医療を受けられるよう、質の高い看護を提供していきたいと思います。

外来：菅井里美



## 派遣看護師

### 4月から自治医大から派遣で来ました

4月から、自治医科大学付属病院から派遣できました。大学病院とはまた違った患者さんの特徴をつかみ、地域の中核病院としての役割を学んでいきたいです。また、退院後も継続した看護を提供するための支援や地域の連携を学び、患者さんや家族に寄り添った看護ができるように努めていきたいです。

3階病棟：三井彩



## 時短看護師

### 子育てしながら頑張っています

就職し7年目になります。2歳と1歳の子供がいます。5月から育児休暇が明けて、短時間勤務制度を利用しています。子育てしながら、3階病棟で勤務しています。何年経っても、患者様に寄り添う看護ができるように心がけていきたいです。

### 3階病棟：平山美稀



## いきいき看護助手

### 患者さんとご家族の懸け橋に

療養中の活力である御家族との面会が、新型コロナウイルスの影響で、面会ができなくなって2年以上になります。ご家族も患者さんの様子や状態がわからず不安だと思えます。

安心して頂くために、御家族が来院した際には、患者さんの変化や様子を伝えていけたらと思えます。患者さんに寄り添ったケアを提供し、患者さんと家族の懸け橋になることを目標に努力していきたいと思えます。

### 2階病棟：長山由美子



## 認定・特定行為看護師

### 手術室で勤務しています

『精神及び神経症状に係る薬剤投与関連』と『栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連』の特定行為研修を修了しました。認知症看護認定看護師として活動していく中で、せん妄対応の相談が多く、私自身も悩んでしまうことがありました。特定行為研修で学んだフィジカルアセスメントや臨床推論は、現在患者さんに起きている現象を理解する上でとても役に立ち、タイムリーに対応することで患者さんの早期回復や医療の質の向上につながればと考えています。

### 認知症看護：早稲田祥子



## 認定・特定行為看護師

### 外来で勤務しています

5年前に特定行為看護師を取得し、昨年呼吸器疾患看護認定看護師と改訂されました。当院に受診されている患者さんの呼吸状態の把握を行い、安全安楽な環境での治療が継続できるように心がけています。院内では、看護師指導や相談を受け看護に反映できるように看護師一人ひとり援助しています。今後も看護の向上ができるように、認定看護師・特定看護師として努力していきます。

### 慢性呼吸器疾患看護：小松洋子



## 訪問看護師

### 外来で勤務しています

訪問看護師は患者さんや家族との関わりが深く、お互いの信頼関係で成り立っているため、やりがいも大きいです。家族の立場に立ってケアを行い、何より住み慣れた家庭で療養生活を安心して送れるように支援していきます。そして、「ありがとう」の言葉や笑顔を励みにスタッフ一同で訪問看護を提供し頑張っています。

### 訪問看護：菊地なぎさ



## 部署紹介

### 2階病棟：看護師長 富岡淳子

### 個別性や疾病段階に合わせた看護

2階病棟は急性期の治療が終了し、在宅に戻るため家屋や福祉サービスの準備が必要な患者さんや、長期の療養が必要な患者さんが生活する療養病棟です。看護師と看護助手がほぼ同数で勤務しており、協力して日々の看護や介護をしています。また、患者さんが季節を感じ生活リズムを整えられるように、病棟独自にガラスアートや遊びリテーション、嚥下体操を行っています。

療養病棟は高齢の患者さんが多く、疾患や疾病の段階も様々です。私たちは高齢者の特徴を理解し、自信をもって患者さんの個別性や疾病段階に合わせた看護・介護が提供できることを目標にしています。そして、患者さんだけでなく家族もケアの対象と考え、患者・家族の様々な思いや不安をスタッフ全員で共有し、安心して生活できるように支援していきたいと思えます。





## 3 階病棟：看護師長 増淵由季子

### 若い力を活かせる体制作り

3 階病棟は、内科・眼科・小児科の混合病棟です。入院患者・家族の高齢化が進んでいる現状です。地域連携の強化を図るために、病棟配属の退院支援調整看護師を中心に、在宅復帰に向けて退院支援に力を注いでいます。今年度は、新人と新入職者も配属になり、病棟に新しい風が吹いてきました。若いスタッフの力を活かせるように、取り組んでいきます。

現在はコロナ禍の影響で、入院後は家族の面会ができない状況にあります。患者家族の気持ちに寄り添える看護が提供できるように、努めていきたいと考えています。

新人と入院対応  
4月～7月まではペアで行動しています。



## 4 階病棟：看護師長 根本直美

### 心に寄り添える看護

4 階病棟は外科、整形外科、内科の混合病棟で、内科の急性期から慢性期、骨折や消化器の手術を受ける方が入院しています。手術前から手術後、リハビリりまで通して看護を行い、患者さんの回復の経過を近くで感じながら働いています。また、疾患だけではなく様々な視点で患者さんを捉える力、看護する力を身につけることができます。患者さんが安心して退院を迎えられるようリハビリや栄養士など多職種と連携し頑張っています。

患者さん、御家族が安心して入院生活を送れるよう、心に寄り添える看護を提供していきたいと思ひます。

夜勤者から日勤者への申し送り  
夜勤者はカラーのスクラブを着用して勤務しています。



## 医療福祉相談・医療連携室：兼室長補佐 高野良子

### みんなで支える体制作り

看護師4名とMSW1名で構成されています。カンファレンスの参加、転院相談、困難事例の多職種カンファレンスの開催、患者・家族との面談等を行っています。

老々介護、独居、高齢化率が高い地域であります。院内の医療スタッフ、ケアマネージャー、行政の方々と連携をとり、患者・家族が在宅に帰っても困らない退院支援を心がけています。多職種でチームワークを図り、地域に根付いた地域・病院間の連携を図っていききたいです。



## 医療安全管理室 患者相談窓口：羽石美智代

### 安全で安心と思える環境作り

令和3年5月から医療安全管理室が設立し、1年が過ぎました。患者さんはもちろん医療スタッフの安全のため、発生時のすみやかな対応、院内巡視、医療安全研修や医療安全ニュースの配布を行っています。今後も医療事故防止をはじめとした様々な活動を行い、患者さん、医療スタッフが安全で安心と思える環境づくりに励んでいきたいと思えます。医療の中心は患者さんであることを念頭に、患者さんから「信頼」される医療の確保に努めていきたいです。





# 教育について



## 教育体制

当院は日本看護協会（JNA）ラダーを取り入れた教育を行っています。  
 地域の方の暮らしと医療を支えるため切れ目のない看護が必要です。その実現のために基本となる看護実践能力の強化が必要です。看護師は多職種連携の中心的役割を担い、患者さんの個別性を配慮した看護ケアを目指します。

2019年4月より、日本看護協会のクリニカルラダーを看護実践能力の標準的指標として、当院の理念や目標に応じた組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力を含めたキャリアラダーとして3つの学習を段階的に進めています。また、インターネットを利用したオンデマンド研修も取り入れ子育て中の方や育児休暇中の方も、しっかりと受講できる体制です。

### ◎教育目標

1. 地域医療の提供に必要な看護実践能力の向上に向けて自発的に行動することができる人材育成
2. 質の高い医療の提供に向けて、多職種と連携することができる

### ◎那須南病院看護部キャリアラダー

習熟段階	看護実践能力の定義	到達目標
V ラダーIVを到達した看護師	より複雑状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する</li> <li>・所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる</li> <li>・看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる</li> <li>・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる</li> <li>・看護単位における教育的役割がとれる</li> </ul>
IV ラダーIIIを到達した看護師	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する</li> <li>・職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる</li> <li>・自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組み、先輩のモデルになる</li> </ul>
III ラダーIIを到達した看護師	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアの受け手に合う個別性な看護を実践する</li> <li>・職場での組織的役割が遂行でき、チームリーダーや調整の役割が果たせる</li> <li>・自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や新採用者に対する指導的な役割を実践することができる</li> </ul>
II ラダーI以外の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する</li> <li>・メンバーシップを高めると共に、チームリーダーの役割がとれる</li> <li>・自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる</li> </ul>
I 新採用の新人看護師及び同等の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する</li> <li>・チームメンバーとしての役割が果たせ、良い人間関係を築ける</li> <li>・自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる</li> </ul>



キャリアラダーⅠに沿って学習を進めて行くとともに、できるだけ早く職場になじみ、自立した看護実践が行える為の知識・技術を身につけられるよう、定期的に研修を行っています。研修では、1年目・2年目を対象に年7回の研修を行い、看護技術の習得や看護過程の展開などを行っています。その中で年4回振り返りの場を設け、目標達成に向けた具体的な行動計画の振り返りや反省をしています。その他にも院内留学を行い、普段経験することのできない手術、透析見学を行っています。

チーム全体で新人教育に関わり、親しみやすい雰囲気作り、困ったときは一緒に考え、できたこと考えたことを認めて勇気づけ、社会人として看護師のモデルになれるよう目指しています。入職後4か月間は、PNS（パートナーシップナーシング）で行動します。そして、日々の看護実践の中で基本的な看護手順（ナーシングメゾット）を活用し、必要に応じ助言を行いながら看護実践に取り組んでいます。

### 教育目標

- I期目標
- ①休まず出勤できる
  - ②患者、家族、職員へ進んで挨拶ができる
  - ③日勤業務ができる

- II期目標
- ①メンバーの一員としての役割を認識し業務ができる
  - ②基本的な看護技術が一人で行える

- III期目標
- ①個別性のある看護が展開できる
  - ②不明な点や知識・技術を明らかにして補足と習得ができる
  - ③指導のもと重症患者を看ることが出来る
  - ④指導のもと急変に対応できる

- IV期目標
- ①基本的な看護援助に必要な知識と技術を習得し、安全・安楽に援助できる
  - ②メンバーとして役割が果たせ、良い人間関係を築ける
  - ③自己学習及び自己研鑽の方向性と方法が分かり、実践できる
  - ④現場での看護実践および学習・研修を通して看護観を育てる

病棟では新人看護職員をチーム全体で支援していくチーム支援型教育体制を取り、環境づくりを心がけています。

1. 親しみやすい職場の雰囲気をつくる
2. 困ったときに一緒に考える
3. できたこと、考えたことを認め勇気づける
4. 社会人として、看護師のモデルとなる



◎新人看護職員研修の様子（2022年度）

## ラダー I 研修 輸液ポンプ

新人と2年目看護師と一緒に、準備、作動確認の振り返り中



研修を勤務時間内に行っています。  
ラダー I 教育担当者2名と5名の受講者が参加しています。  
ラダーの説明や年間計画の確認をします。  
個人ファイルが配布され、各自がいつでも今後の目標や計画を確認  
できます。



## 看護助手教育

### 看護助手研修

教育委員会では看護助手全員が参加し、安全に業務ができて知識や技術を習得できることを目標に研修を計画し実施しています。また、看護助手の経験がない人は基礎から教育を受けられ、看護助手の経験がある人は持っている知識と技術をさらに増やせるように今年度からは、看護師教育と同様に看護助手も当院独自のラダーで助手教育を行います。ぜひ、一緒に楽しく働きましょう！

#### ◎助手研修の様子（2021年度）



## e-ラーニング研修活用

当院はインターネットを活用してオンライン講義「e-ラーニング」を採用しています。教育委員が中心となり、ラダー教育にオンデマンド研修を活用しています。勤務時間内に行い、時間外研修を減らしています。オンデマンドを活用し、自分のライフスタイルに応じた自宅学習を推奨しています。看護部職員はいつでもどこでも学ぶことができます。

#### ◎JNA ラダー研修の様子



## あなたの夢と一緒に応援します！



当院は看護師志望の学生を対象に、修学資金制度を設けています。

### 制度の目的

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院の看護師及び准看護師の充実を図るため、将来那須南病院に勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与するものです。

免許取得後、貸与を受けた期間と同一の期間を那須南病院で看護業務に従事した場合は、修学資金の返還が免除されます。

1. 対象者…看護師及び准看護師を養成する学校又は養成所に在学する方で、将来、那須南病院に勤務する意志を有する方
2. 貸与の額 … (1)看護師養成施設に在学の方…月額 70,000 円  
(2)准看護師養成施設に在学の方… 月額 35,000 円
3. 貸与の期間…貸与の決定を受けた年度の4月から3月まで  
①貸与の申請及び決定は毎年度行ないます。  
②次年度以降も申請書の提出が必要です。  
(養成施設を卒業するまでの期間は貸与します)
4. 貸与の時期…6月・9月・12月及び3月に当該月分まで(3か月分)を指定の口座に振り込みます。(これ以外の時期または回数の変更も可能です。)
5. 申請期間及び方法  
随時 修学資金を希望される方は、下記まで連絡願います。申請書類等をお渡しします。常時受け付けておりますので、ご相談ください。



高みを目指して！